

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 日機装株式会社

コード番号 6376 URL <http://www.nikkiso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 甲斐 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 西脇 章

TEL 03-3443-3711

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	50,780	△3.9	2,299	△26.2	2,692	44.3	1,150	638.6
21年3月期第3四半期	52,821	—	3,115	—	1,865	—	155	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	17.80	—
21年3月期第3四半期	2.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	113,489		45,121		39.0	557.91
21年3月期	83,687		36,721		43.3	578.72

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 44,236百万円 21年3月期 36,242百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—		
22年3月期 (予想)				6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,500	8.4	4,500	△5.7	4,300	3.3	2,100	53.6	30.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 80,286,464株 21年3月期 72,611,464株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 996,371株 21年3月期 9,986,018株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 64,598,906株 21年3月期第3四半期 64,084,816株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

日本経済はデフレ基調からの脱却の道筋が見えず、個人消費、企業の設備投資とも回復の遅れが予想されるなか、当社は中期的な展望のもと、各事業の基盤強化に努めています。

昨年8月、往復動ポンプの分野で世界のトップメーカーであるドイツのLEWAグループを買収し、技術レベルでも販売網でも、工業部門の世界市場への積極的な事業展開の基礎を築くことができました。また、同11月には30数年ぶりに株式市場からの資金調達を実施し、財務基盤の強化にも努めました。

当第3四半期は、国内市場向け工業設備製品の販売が低迷する一方で海外向けの大型ポンプ受注に動きが出始め、またメディカル事業の新型人工透析装置の需要と堅調な消耗品売上が寄与して、収益力は改善傾向にあります。

当第3四半期累計期間の受注高、売上高は、第3四半期が前年と比べて受注高45.7%、売上高10.8%とそれぞれ増加に転じた結果、受注高51,943百万円（対前年同期比0.3%減）、売上高50,780百万円（同3.9%減）となり、ほぼ横ばいの水準にまで回復しました。営業利益は2,299百万円と対前年同期比26.2%の減少ながら、経常利益は2,692百万円（同44.3%増）、四半期純利益は1,150百万円（同638.6%増）と大幅に改善しています。

## (1) 売上高

工業部門は国内の設備投資の回復が本格化せず、ポンプ、産業用機器とも低調ながら、医療部門では透析業務の効率化・省力化により病院経営に効果を発揮する新型の人工透析装置の販売が順調でした。この結果、売上高は50,780百万円と対前年同期比3.9%減となりました。

## (2) 営業利益

原価経費や販売管理費等のコスト低減を推進し、一方でLEWA社の買収に伴うのれんの償却も計上したことにより前年同期間に比べて26.2%減少し、営業利益は2,299百万円となりました。

## (3) 経常利益

LEWA社の買収資金に係る支払利息を計上しましたが、合弁会社の持分法による投資利益や為替差益の計上などにより、経常利益は前年同期間に比べ44.3%増加して2,692百万円となりました。

## (4) 四半期純利益

LEWA社買収に関連した諸費用や保有株式の評価損などを計上しましたが、四半期純利益は1,150百万円となり、株価の下落に伴い多額の保有有価証券の減損処理を行った前年同期間に比べて約6倍の増加となりました。

## 〔事業の種類別セグメントの状況〕

## 《工業部門》

## ＜ポンプ事業本部＞

当第3四半期累計期間は、世界同時不況の影響により全般的に主要顧客の設備投資の抑制とメンテナンス費用の削減の動きが顕著となりましたが、第3四半期に入り、石油、石油化学向けのポンプや、またオーストラリアや中東の液化天然ガス向けのクライオジェニックポンプの大型受注に至るなど、一部に明るい兆しが見えてきました。また、昨年8月に買収したLEWA社の業績を第3四半期から合算しています。

この結果、受注高は13,756百万円（対前年同期比0.3%減）、売上高は14,170百万円（同8.5%減）となりました。

今後は、再開されたプロジェクト案件の着実な受注に努めるとともに、LEWA社との連携体制を整備、推進していくことにより、業績の向上をめざします。

## ＜ISOL事業本部＞

当第3四半期累計期間においては、半導体向け設備や国内電力会社の設備への投資は依然低調であり、全般的に厳しい状況は続いています。

この結果、受注高は4,856百万円（対前年同期比28.4%減）、売上高は4,635百万円（同24.6%減）となりました。

電子部品製造装置の関連業界で生産量の改善や粒度分布測定装置の東南アジア向けの売上が伸びるなど、一部に回復の兆しが見えてきており、市場の動向を的確に把握し業績の向上を目指します。

## ＜航空宇宙事業本部＞

航空機業界に波及した世界同時不況の影響による顧客からの減産や納期先送りの要請が第3四半期に入って落ち着いてきたものの、円高が持続していることもあり、依然として厳しい状況が続いています。このような中、原材料費の一層の低減、生産方法の見直しなどを積極的に展開しました。

この結果、受注高は2,413百万円（対前年同期比20.1%減）、売上高は2,405百万円（同20.5%減）となりました。

今後は、ベトナムに建設した航空機部品専用の生産拠点の早期稼働、さらなる生産効率のアップ、新規開発の実施等を確実に行之、業績の向上を図っていきます。

## 《医療部門》

## ＜メディカル事業本部＞

当第3四半期累計期間は、透析業務の効率化・省力化を実現する機能を付加した人工透析装置の販売が順調であり、また、PEPA膜ダイアライザー、血液回路、および粉末型透析用剤等の透析関連消耗品についても売上を伸ばしております。

この結果、受注高は30,916百万円（対前年同期比8.5%増）、売上高は29,568百万円（同5.0%増）となりました。

今後は、国内における人工透析装置の高い市場シェアを生かして買い替え需要を確実に取り込むとともに、海外での新規需要の増大を通じて業績の更なる向上を努めていきます。

## 〔所在地別セグメントの状況〕

## ＜日本＞

国内は、メディカル事業本部の業績が順調に推移する一方、工業部門の業績が一部の業界で景気回復の兆しが見え始めているものの厳しい事業環境が続いており、売上高は43,331百万円（対前年同期比8.9%減）、営業利益は3,316百万円（同30.6%減）となりました。

## ＜アジア＞

アジア地域では、メディカル関連のベトナム・タイの製造子会社の業績が円高の影響等もあり、順調に推移しており、売上高は6,307百万円（対前年同期比7.2%増）、営業利益は814百万円（同171.8%増）となりました。

## ＜北アメリカ＞

北アメリカ地域では、ポンプ関連の子会社並びに粉体関連の子会社とも不況の影響を受けて、売上高は2,347百万円（対前年同期比13.3%減）、営業利益は188百万円（同29.4%減）となりました。

## ＜ヨーロッパ＞

ヨーロッパ地域では、昨年8月に買収したLEWAグループの業績の一部を合算しました。メディカル関連子会社の業績も回復途上にあります。この結果、全体でも売上高は6,487百万円（対前年同期比22.6%増）となり、営業損失は166百万円（前年同累計期間は営業損失406百万円）と回復基調になりました。

- (注) 1. 所在地別セグメントの売上高は、当社グループ内取引において生じた売上高（総額7,693百万円）を含んでおります。
2. 所在地別セグメントの営業利益は、当社グループ内取引において生じた利益額（総額1,853百万円）を含んでおります。

## 〔研究開発の状況〕

当社グループのモノづくりを支える研究開発の拠点として、平成21年7月に100%出資子会社の「株式会社日機装技術研究所」を設立いたしました。当研究所では、中長期にわたる製品、技術、未来に繋がる基礎技術の研究、生産技術の刷新などを通じて、更なる技術革新に取り組んでまいります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計は113,489百万円となり、前連結会計年度末に比べて29,801百万円増加しています。昨年8月に買収したLEWAグループを連結対象として合算したことが主因です。

当第3四半期末の負債合計は68,368百万円となり、前連結会計年度末に比べて21,402百万円増加しています。LEWAグループ買収に伴う長期借入金の増加が主因です。

当第3四半期末の純資産合計は45,121百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,399百万円増加しています。昨年11月に行った公募増資と自己株式の処分による株式売出しによる資本調達为主因です。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績については、医療部門の好調とクライオジェニックポンプなど工業部門の一部製品の受注回復、LEWAグループの業績貢献などにより、利益面では昨年11月4日に公表した予想値の増加が見込まれるものの、内外の景気、為替や株式市場の動向に依然として不透明感が残っており、現時点では、当該予想値を据え置いています。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、平成21年8月13日付けで、当社の連結子会社であるドイツのNikkiso Pumps Europe GmbHを通じて、ドイツのLEWA Management GmbHの出資持分100%を取得しました。これに伴い、同社及び同社子会社21社を連結の範囲に含めております。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## 2 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

## 3 固定資産の減価償却費の算定方法

当連結会計年度に係る年間償却見積額を期間按分する方法によっております。

## 4 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少なものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

## 5 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,799	10,248
受取手形及び売掛金	23,976	25,274
商品及び製品	5,104	4,770
仕掛品	4,720	3,038
原材料及び貯蔵品	6,588	6,388
繰延税金資産	1,485	1,036
未収還付法人税等	0	1,073
その他	1,887	1,253
貸倒引当金	△530	△393
流動資産合計	54,031	52,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,776	10,146
機械装置及び運搬具(純額)	3,065	3,359
土地	4,149	3,635
リース資産(純額)	171	212
建設仮勘定	323	170
その他(純額)	1,786	1,511
有形固定資産合計	20,273	19,035
無形固定資産		
のれん	25,966	688
特許権	335	99
電話加入権	43	43
リース資産	106	141
その他	1,611	753
無形固定資産合計	28,064	1,727
投資その他の資産		
投資有価証券	8,684	7,818
長期貸付金	17	20
繰延税金資産	371	377
破産更生債権等	27	22
前払年金費用	1,042	1,035
その他	1,002	978
貸倒引当金	△27	△17
投資その他の資産合計	11,120	10,234
固定資産合計	59,457	30,997
資産合計	113,489	83,687

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,967	10,145
短期借入金	8,921	6,579
1年内返済予定の長期借入金	3,560	2,091
リース債務	117	129
未払金	1,734	1,789
未払消費税等	140	90
未払法人税等	506	258
未払費用	1,787	589
賞与引当金	645	1,492
役員賞与引当金	37	60
設備関係支払手形	1	18
その他	2,426	1,412
流動負債合計	29,847	24,657
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	30,712	15,080
リース債務	165	229
繰延税金負債	1,119	718
退職給付引当金	472	215
役員退職慰労引当金	38	51
長期預り保証金	12	12
固定負債合計	38,520	22,308
負債合計	68,368	46,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,544	6,094
資本剰余金	10,701	10,265
利益剰余金	28,418	29,471
自己株式	△824	△8,274
株主資本合計	44,839	37,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	690	98
為替換算調整勘定	△1,293	△1,412
評価・換算差額等合計	△602	△1,314
少数株主持分	884	479
純資産合計	45,121	36,721
負債純資産合計	113,489	83,687

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	52,821	50,780
売上原価	36,970	35,811
売上総利益	15,851	14,969
販売費及び一般管理費	12,735	12,670
営業利益	3,115	2,299
営業外収益		
受取利息	48	25
受取配当金	194	166
持分法による投資利益	122	214
受取地代家賃	118	117
為替差益	—	182
その他	338	306
営業外収益合計	822	1,013
営業外費用		
支払利息	465	549
為替差損	1,211	—
その他	394	70
営業外費用合計	2,072	619
経常利益	1,865	2,692
特別利益		
固定資産売却益	16	9
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	17	9
特別損失		
固定資産除却損	139	86
固定資産売却損	5	5
投資有価証券評価損	1,726	52
たな卸資産評価損	69	—
ゴルフ会員権評価損	26	—
事業買収関連費用	—	842
特別損失合計	1,967	986
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△84	1,715
法人税等	△268	443
少数株主利益	27	121
四半期純利益	155	1,150

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△84	1,715
減価償却費	2,286	2,191
有形固定資産除却損	139	86
有形固定資産売却損益(△は益)	△11	△4
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,726	52
ゴルフ会員権評価損	26	—
のれん償却額	185	431
持分法による投資損益(△は益)	△122	△214
貸倒引当金の増減額(△は減少)	477	67
前払年金費用の増減額(△は増加)	△195	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35	17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△139	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△927	△847
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△22
受取利息及び受取配当金	△243	△191
支払利息	465	549
為替差損益(△は益)	244	△44
売上債権の増減額(△は増加)	4,581	4,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,730	△211
仕入債務の増減額(△は減少)	△343	△1,444
未払消費税等の増減額(△は減少)	45	51
その他	△596	△390
小計	4,799	5,951
利息及び配当金の受取額	260	349
利息の支払額	△367	△435
法人税等の支払額	△2,984	△443
法人税等の還付額	—	1,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,707	6,551

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△147	△351
定期預金の払戻による収入	84	276
有形固定資産の取得による支出	△2,935	△1,417
有形固定資産の売却による収入	96	42
その他の無形固定資産の取得による支出	—	△212
投資有価証券の取得による支出	△937	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	12	—
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	2	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△22,573
短期貸付けによる支出	△68	△6
短期貸付金の回収による収入	162	10
長期貸付けによる支出	△6	△1
長期貸付金の回収による収入	2	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,736</b>	<b>△24,232</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	11,956	26,207
短期借入金の返済による支出	△9,021	△23,895
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△100
長期借入れによる収入	67	29,244
長期借入金の返済による支出	△866	△19,434
株式の発行による収入	—	898
自己株式の取得による支出	△1,120	△6
自己株式の売却による収入	—	5,991
配当金の支払額	△770	△751
少数株主への配当金の支払額	—	△12
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>245</b>	<b>18,140</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△577	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,360	454
現金及び現金同等物の期首残高	10,565	9,830
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,205	10,297

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	24,656	28,165	52,821		52,821
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	24,656	28,165	52,821		52,821
営業利益	2,598	2,489	5,087	(1,971)	3,115

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	工業部門 (百万円)	医療部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	21,211	29,568	50,780		50,780
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	21,211	29,568	50,780		50,780
営業利益	902	3,619	4,521	(2,222)	2,299

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2 各事業の主な製品

## (工業部門)

## &lt;ポンプ事業本部&gt;

制御容量ポンプ、キャンドモータポンプ、低温用サブマージドポンプ、コンプレッサ、  
自吸式スラリーポンプ、プランジャ式ハイパワーポンプ、薬液注入装置・システム、  
プロセス送液装置・システム

## &lt;ISOL事業本部&gt;

火力・原子力向試料採取装置、薬液注入装置、復水検塩装置、水質分析計、  
プロセス制御システム、工場排水処理装置、粒度分布測定装置、ゼータ電位測定装置、  
インライン粉体プロセス粒度測定装置、粉体ラボ用自動化システム、比表面積測定装置、  
冷間等方圧プレス、温水ラミネータ、ドライラミネータ、Itabar 流量計、  
産業用除湿機(ドライヤー)、アイソ・ボンダー

## &lt;航空宇宙事業本部&gt;

炭素繊維強化樹脂(CFRP)成形品、マテライトコンポジット

## (医療部門)

## &lt;メディカル事業本部&gt;

人工腎臓装置、透析用消耗品、透析用剤、人工臓臓、輸液ポンプ、透析排水 pH 処理装置、  
医療機器ポンプ、血液浄化用装置他

3 当第3四半期連結累計期間において、LEWA Management GmbH の出資持分を取得し、同社及び同社の子会社を新たに連結子会社といたしました。これにより、工業部門における資産の金額が 35,414 百万円増加しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	43,136	2,972	1,430	5,282	52,821		52,821
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,446	2,911	1,275	8	8,642	(8,642)	
計	47,583	5,884	2,706	5,290	61,464	(8,642)	52,821
営業利益又は営業損失( )	4,781	299	266	406	4,941	(1,825)	3,115

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	40,006	3,263	1,480	6,029	50,780		50,780
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,325	3,044	866	457	7,693	(7,693)	
計	43,331	6,307	2,347	6,487	58,473	(7,693)	50,780
営業利益又は営業損失( )	3,316	814	188	166	4,152	(1,853)	2,299

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム  
 (2)北アメリカ : アメリカ  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	9,340	3,192	7,379	1,417	21,330
連結売上高(百万円)					52,821
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.7	6.0	14.0	2.7	40.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、サウジアラビア、韓国他  
 (2)北アメリカ : アメリカ他  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ、ノルウェー、フランス他  
 (4)その他の地域 : チリ、ペルー、ブラジル他

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	7,462	4,115	6,815	1,482	19,876
連結売上高(百万円)					50,780
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.7	8.1	13.4	2.9	39.1

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1)アジア : 中国、韓国、インド他  
 (2)北アメリカ : アメリカ他  
 (3)ヨーロッパ : ドイツ、ベルギー、ノルウェー他  
 (4)その他の地域 : オーストラリア、コロンビア、チリ他

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社は、平成21年11月10日開催の取締役会決議に基づき、募集による新株式発行(一般募集)、自己株式の処分による株式売出し(引受人の買取引受による売出し)及びオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連しておこなった第三者割当増資の払い込みを平成21年11月26日及び平成21年12月22日に受けました。この結果、株主資本合計が6,890百万円増加しております。その内訳は資本金が449百万円、資本剰余金が435百万円、自己株式が7,456百万円増加し、利益剰余金が1,451百万円減少しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が6,544百万円、資本剰余金が10,701百万円、利益剰余金が28,418百万円、自己株式が824百万円となり、株主資本合計は44,839百万円となりました。